



とっばずれ

銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1713



RYLA (職業奉仕 人間尊重・協同奉仕委員会：提供)

第1713回 例会 平成19年3月6日

点 鐘 ... 中西 廣 会長

国 歌 ... 君 が 代

ロータリーソング ... 奉 仕 の 理 想

来訪ロータリアン紹介

... 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 ... 中西 廣 会長

御 祝 披 露 ... 中西 廣 会長

誕 生 祝 ... 関根 輝男会員(3月6日)

結 婚 記 念 日 ... 平野 恭男会員(3月4日)

入 会 記 念 日 ... 宮内 宗一会員(3月1日)

片海 宣光会員(3月5日)

幹 事 報 告 ... 宮内 博 幹事

ニコニコBOX ... 親睦活動・家族委員会
卓 話

「一茶 七番日記に見る銚子」

銚子RC 杉山 俊明 氏

出 席 報 告 ... 出 席 委 員 会

来週のプログラム (平成19年3月13日)

卓 話

「銚子と国木田独歩」

国木田独歩百年忌実行委員会

総務部会長 高瀬 博史 氏

お食事「寿し辰」



LEAD THE WAY “ 率先しよう ”

2006～2007年度 RI 会長 ウィリアム B.ポイド



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 1712 回例会(平成 19 年 2 月 27 日)

会長挨拶

中西 廣

2 月 23 日から 25 日にかけて、東金青年の家を会場にライラが開催されました。社会奉仕委員会から網中担当理事、石井人間尊重・協同奉仕委員長、それに宮内勝利さんの応援をいただき、千葉科学大の学生さんの協力の下に実施されました。初日は、悪天候のなかでの開講でもあり、あと 2 日は比較的寒い日でありました。ご参加の皆さん、誠にご苦労さまでした。また、学生の派遣については、狩野先生にご配慮を頂きました事に、厚く感謝申し上げます。

ところで、山形県で 2 月 15 日に桜の開花があったとのニュースを聞きました。例年は 3 月末から 4 月上旬の開花で、1 ヶ月半も早いと言います。暖冬による雪不足で、今年の夏の湯水が懸念され、また酷しい暑さが予想されています。

異常といえ、近頃、最近の青少年問題に限らず、聞くに耐えない、様々な事件・事故の報道に毎日のように接します。これは、日本社会が道徳的に脆弱となり、病理を抱えている、その背景としてあるのが、現在の日本における、道徳教育の衰退・衰弱が一因にあると指摘する声があがっています。

道徳教育といえ、学校での教育を連想するでしょうが、家庭や地域社会、国レベルの場における教育も極めて重要であります。しかし、教育の場で意図的・計画的に行われる学校の道徳教育・道徳の時間の役割は極めて重要であることは申しあげるまでもありません。最近、修身教育の再考論が沸々と論じられるようになりました。昭和 20 年の敗戦で、戦前の匂いのあるものは否定され、その後の学校教育に於ける道徳教育の比重が、心の問題や、感動を与えることに重きを置き、人間としての「型」を教えることを避けてきたという状況があるとの指摘もあります。

先日、私が所属する市内の教育団体で、修身教育

を考えるとという懇話会的な会合がありました。かつての、修身教科書を回覧したり、意見を述べ合ったりしたのですが、敗戦後 60 年あまりを経た現在、修身教育の意義を吟味・再評価し、教育の場に活かすようにするには、その時間的空白があまりにも長く、道のりは厳しいとの意見もありました。修身科を復活させれば、深刻な青少年問題をはじめ、社会の倫理問題が、すぐにでも解決するというものではありませんが、修身教育の功罪を十分に吟味し、身体的修養の知恵を、学校教育、家庭、地域など、さまざまな場面において活かし、道徳教育の充実と、その展望を拓こうという論議は、今後、大きく浮上してくるものと思われます。(雑誌・弘道 18・7~8 月号一部参照)

つづいて、2 月 20 日に行われました、理事会の報告をいたします。(省略)

幹事報告

- 1・ガバナーエレクト事務所より
07 - 08 年度地区内主要会議の日程について 受領
- 2・NPO 法人 B e C O M より
活動報告懇親会のご案内 受領
- 3・銚子地区保護司会より
広報紙「うみなり」の送付について 受領
- 4・例会変更のお知らせ
鹿島臨海 RC より
3 / 30(金) 3 / 28(水) P M 6 : 30 ~
小見川「春本」小見川 RC との合同例会の為 受領
- 八日市場 RC より
3 / 13(火) 3 / 11(日) 家族例会に振替の為 受領
- 旭 RC より
3 / 23(金)「昇月」点鐘 P M 6 : 30
夜間移動例会の為
3 / 30(金) 定款により休会 受領
週報受領 鹿島臨海 RC 旭 RC

卓 話

「戦後子供文化への視点」

銚子 RC 岩瀬 源太郎 氏

子供文化には、年長者から継承したり自分で作り出した文化(遊び)と、大人たちが商業主義に基づいて供給する文化(消費財)の二通りがあるのではないのでしょうか。

特に後者は、
大人が主導権を
握る社会の在り
方、行き過ぎた
商業主義の見直
しが必要です。
大切な子供を経



済優先社会の犠牲にはなりません。教科学習に悪影響をもたらす過激なコンピュータゲーム、俗悪マンガ、低俗なテレビ番組については、良識ある大人たちでさえ黙殺しているのが実情です。先生方が一番扱いに困るのは、落ち着かない小学低学年生だそうです。何故親も手を焼く「オレ様」化した子供が増えているのでしょうか。

31年、経済企画庁の経済白書に「もはや戦後ではない」の言葉が載り、同年評論家大宅壮一は「一億総白痴化」なる名言を發しました。それから半世紀が経過、戦後的な社会状況は依然として残っており、テレビの低俗ぶりは大宅が指摘した時代を上回る惨状です。子供たちを恐ろしい犯罪に巻き込むのも、正義感・勤勉・友情などの美德を有する子供に育てるのも、大人が作る環境次第です。

少年誌の歴史を辿ると、大きな変化がいくつかあるのですが、特筆すべきは月刊誌から週刊誌への移行ではないでしょうか。32年から36年あたりが月刊漫画誌の黄金時代とされています。紙芝居や絵物語から、手塚治虫に代表されるストーリー漫画への変遷には興味深いものがあります。この時期、「月光仮面」など正義のヒーローによる連続活劇が数多く登場、子供たちの仮面への憧憬、異国・異境への興味をかきたてました。主題歌にも大人からのメッセージが込められています。団塊の世代を中心とした大人には、郷愁の世界です。しかし、34年の週刊少年誌発売を境として、子供の生活サイクルが月単位から週単位に変わります。スピード時代、子供相手の大量消費時代が到来したのです。

一方、活字文化以外のメディアによる影響はどうでしょうか。20年代はラジオが情報、娯楽の主流だった時代。ラジオは概ね健全に今に至っています。子供向け時代劇に鉅脈を見いだした映画界も、立ち見状態の隆盛を誇ります。しかし、33年をピークに娯楽の王座はテレビに。街頭テレビの人だかり、仮面のヒーローに憧れたあの時代…。影響力は大で

した。でも現代の子供たちには関心の対象外。「オレ様」化の波は現代を覆っています。児童・生徒の学力は、国語力、意思伝達能力の低下傾向が顕著です。この現象の元凶は、戦後子供文化の変遷と無縁とは思えません。

今こそ、メディア・クリエイターの役割は重要です。当然、親の無関心も許されません。時には家庭でテレビを消すことも必要です。テレビの低俗番組による一億総白痴化は、地球の砂漠化と似ています。一度失ったものを取り戻すには、英断が不可欠だと考えます。

第30回RYLAセミナー

人間尊重・協同奉仕委員会
委員長 石井 哲也

2月23日
から2月25
日の3日間、
当クラブから、千葉科学大学の学生である能代君、樫(ゆずり)君の



2名が参加し、第30回のR.Y.L.A セミナーが開催され、開講式には、網中社会奉仕委員長・宮内次年度ガバナー補佐とともに出席、閉講式にも出席しました。

あいにくの天候になった今回のRYLAセミナーでしたが、3日間のセミナーを終えた参加者からは、いやいや参加したものの得るものが多く、参加して良かったと充実感があふれていました。

また、最終日にはJリーグ東京ベルディの元監督である松木安太郎氏の特別講演もおこなわれ、若人たちにエールを贈って花を添えてくれました。



いずれ、今回参加した彼らの、生の声を卓話等で皆さんにも聞いていただけたらと思っております。

3月 識字率向上月間

機能的識字率向上プログラム

10億人、つまり世界人口の六分の一の人々が文字を読むことが出来ないと推定されております。大人も子供が読み書きできないことは、高度の工業国も発展途上国も含め地球規模の問題です。世界における成人読み書き不能者の数は毎年2,500万人ずつ増えているのです！米合衆国では、全人口の四分の一が機能的非識字者（自分の仕事を果たすのに不十分な読む能力）だと見なされています。

読み書き能力の不能の悲劇は、文字を読めない人は独立を拒絶され、悪質なごまかしや貧困や、生きがいを与える人間としての尊厳の喪失の犠牲となることです。読み書き不能は人の品位を落させます。それはまた経済的、政治的、社会的そして個人的な発展の大きな障害です。読み書き不能は国際間の理解、協力及び世界平和をはばむ障害物になります。

読み書き能力の教育は、1978年にロータリーのもの「保健、飢餓追放、および人間性尊重3-H委員会」によって優先的プログラムと見なされました。初期の3-Hプログラムによる補助金のお陰で、世界の読み書き能力の問題に関する優れた研究資料集が出来たのです。このロータリー後援の出版書「読む権利」(The Right to Read)はスウェーデン、リンコピングのパースト・ガバナーで読み書き教育圏急の偉大な権威であるロータリアンのイーヴ・マルムキストによって編集されたものです。この本はロータリーが読み書き能力推進運動を強調する主なプログラムの先駆者となりました。

1985年にRI理事会は、10年間計画により、読み書き教育の強調を実施することを宣言しました。この強調は、1992年、理事会により2000年まで延期されましたが、理事会はこの強調を再度、2005年まで延期いたしました。多くのロータリー・クラブがその地区の読み書き練習に必要としている物を慎重に調査しております。あるクラブでは読み書き教育用の基本的な書籍を提供していますし、またその他のクラブでは読書と言葉の教室をつくって後援したり、ボランティアの教師助手を提供したり、読書教材を購入したりしています。

ロータリアンは、その地域社会や発展途上国において読書能力のあることによって得られるいろいろな機会を切り開いてあげるプロジェクトを促進することによって、非常に重要な役割を演ずることができるのです。

幹事の一言

宮内 博

先日の会報に安藤会報委員長のアンケート結果が載りました。テレビで言う所の視聴率調査のようなもので、コンテンツ毎の読者アンケートです。私としては当然、毎回受持っているこの「幹事の一言」の事が気になります。結果は、3/4の会員が毎回読んで頂いているという、私にとっては思いがけない素晴らしい結果で、非常に嬉しいです。年度当初、成り行きで安請負して始まった「幹事の一言」ですが、毎回書くのは思った以上に大変でネタが尽きていつも苦しみながら書いていますが、報われた気分です。と同時に皆さんの期待に応える為にも手抜きの記事にはしないと心に誓いました。

と偉そうな事言っていますが、元来文章力も語彙力もない私の文章ですから大したものを書けませんが、背伸びせず素直な気持ちで「東RCのピーチクパーチク」を目指して??書いて行きますので、今後もご愛読お願いします。

前回の例会(2/27)報告

点 鐘 中西 廣会長

出席報告

会員総数	47名	出席規定除外数	13名
出席者	27名	出席率	79.41%
2月13日		確定出席率	94.12%

来訪ロータリアン

阿天坊俊明君 井上照夫君 岩瀬源太郎君
宮崎裕光君 (銚子RC)

欠席者 7名

安藤君 平幡君 石上(新)君 川津君 木村君
鈴木君 山本(幸)君

メイクアップ

なし

スモールコインBOX

小計 ¥ 2,157-

累計 ¥ 73,756-

ニコニコBOX

小計 ¥ 21,280-

累計 ¥ 651,428-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL 0479(25)3111(代) FAX 0479(25)8799
メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 中西 廣 副会長 黒田幸一 幹事 宮内 博

R . I 第2790地区

クラブ会報委員会 安藤正雄・和田 誠・宮内勝利・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。

例会及び会報からの取材はニコニコへの献金を希望します。

© 2006-2007 The Rotary Club of Choshi-East. All rights reserved.

